

2011.2月

品質月報

Monthly Quality Report

発行部署 : サンシン電気(株)・品質保証部

2月号 INDEX

2月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

今月のテーマは…
「トヨタ車の電子制御システムに問題なし」
米運輸省が最終調査結果！

PAGE 5 ……今月の品質状況

12月は市場不良2件

PAGE 6 ……今月の品質状況

市場不良率推移

PAGE 7 ……品質状況詳細

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 8 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)

PAGE 9 ……活動報告

安全規格申請状況
受入検査状況報告



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果と品質マネジメントシステムの効率的な運用により、お客様のニーズを満たす製品開発と安定的な製品供給をおこない、電機業界および社会へ貢献して参ります。

1. 事業活動において、いかなる場合も品質マネジメントシステムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遂行を通し品質の向上につとめて参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた品質マネジメントシステムの継続的な改善につとめて参ります。
4. 品質マネジメントシステムは、定期的な内部監査・マネジメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一步一步、着実に具現化して参ります。

平成18年7月1日
サンシングループ
代表 石井宏宗



石井宏宗

今月のトピックス

「トヨタ車の電子制御システムに問題なし」！ 米運輸省が最終調査結果

米国のトヨタ車で不具合が指摘されていた電子制御システムをめぐり、米運輸当局が「欠陥は見当たらなかった」と調査結果を発表、トヨタ自動車の主張がようやく認められた。

調査は米運輸省と航空宇宙局(NASA)が行い、加減速を調節する電子制御システムが安全か否かを究明した。

その結果、大半の事故の原因がアクセルとブレーキの踏み間違いだったと判明した。

しかし、米トヨタ車は、アクセルペダルやフロアマットなどの問題では大量のリコール(回収・無償修理)を起こした。信頼回復にはさらなる安全性の確保が欠かせない。

トヨタでは、この問題を教訓として、「絶対に人のせいにしない」ということを決めたと述べていたのを、テレビのニュース番組で見かけました。

論語の”ある言葉”

「子曰(し、いわ)く、

君子(くんし)は諸(こ)れを己(おの)れに求む。

小人(しょうじん)は諸(こ)れを人に求む。」

～人格者は、なにごとにも自分に責任を求める。～

～小さい人間は、すぐ責任を他人に押しつけるものだ。～

人のせいにするのは、簡単。
自分のせいにするのは勇気が要ります。

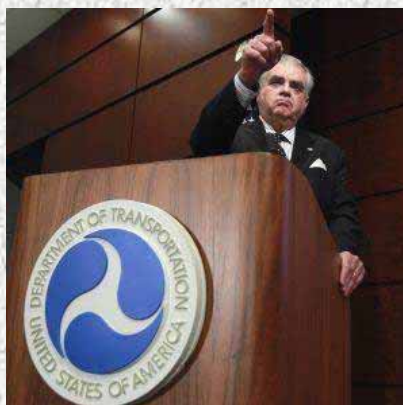
他人の非難や文句を言う前に、自分がどのような行動を取れるのかを考えること。
この孔子の言葉は、自分自身に一番言い聞かさなければならない言葉だと思います。

(トヨタ方式の話)

作り手の都合で考えるのではなく、受け手にとってどうなのかを考える。

品質改善の基準を最初に設定し、それと現状のギャップを問題にする。

仕事はすべてがチェーンのようにつながっている。
どこかで問題が生じたら、全員が作業を止めて問題を顕在化させ、全員で解決の知恵を出す。
問題を生じさせた人のせいにしない。



(品証)



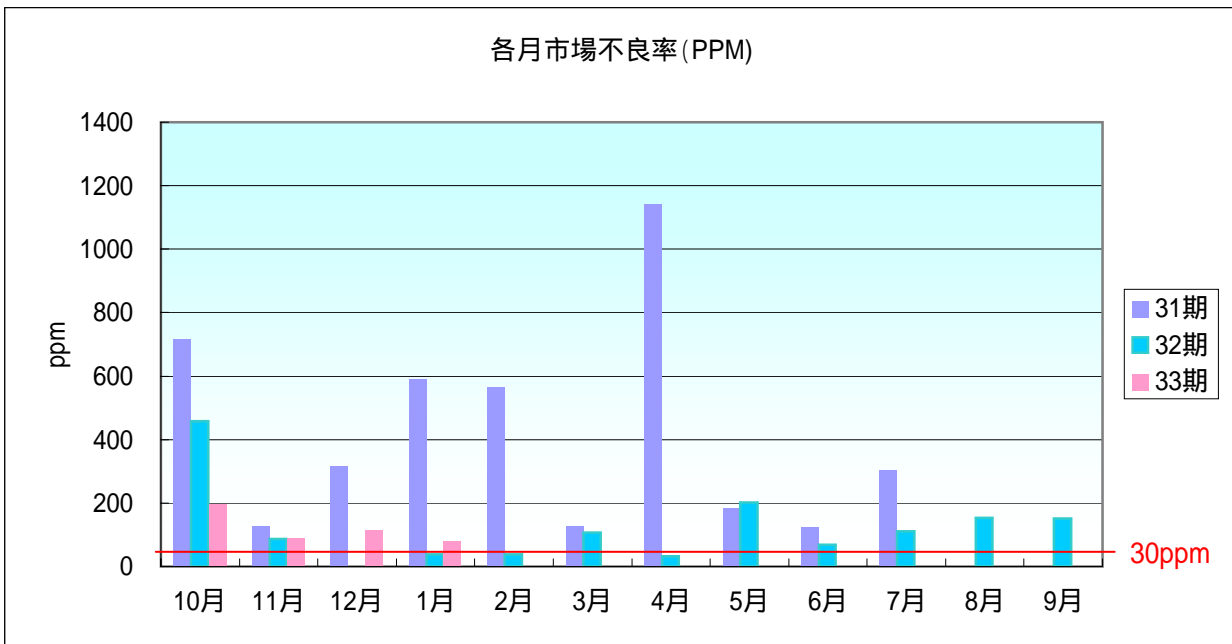
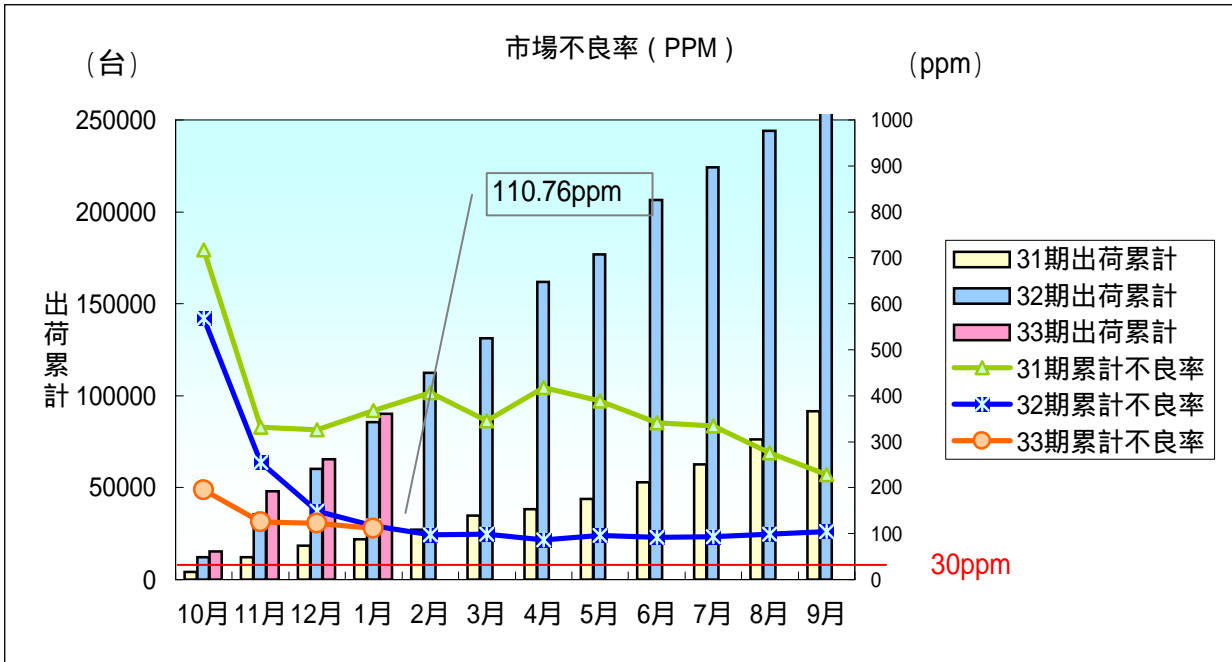
今月の品質状況

33期の旗印

納入不良率 目標……30ppm

33期は30ppm以下を目標にしております。
現時点での累計不良率は**110.76ppm**となっております。

不良率を下げるための、有効な方策が何も打てていないため、変化がありません。
設計、製造、品証 すべての部門が「人のせいにならない」で自らが何をしなければいけないか考えていかなければいけない状況です。

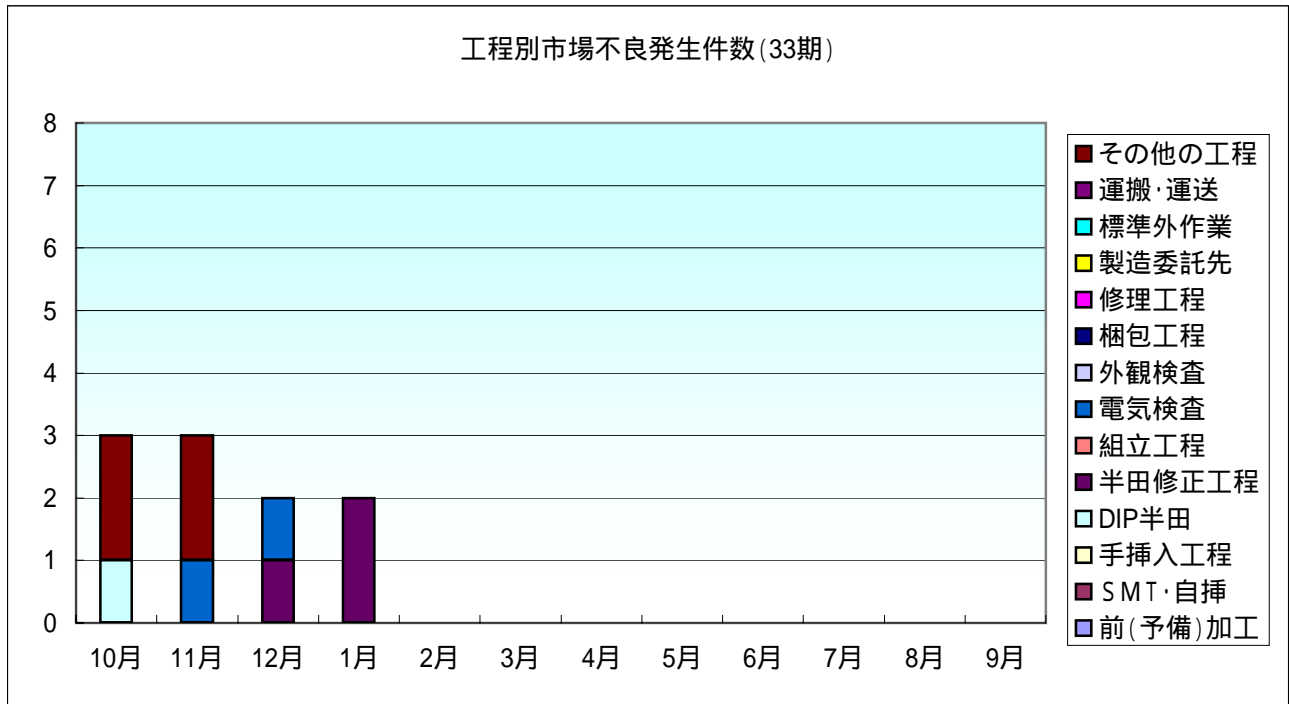


1月の単月不良率は80.93ppmです。
同一機種、同一不良の発生で、「手は打ったが、間に合わなかった」というものです。
迅速な対応をとるために、常に品質向上に神経を集中させていなければいけないと痛感しました。

品質状況詳細

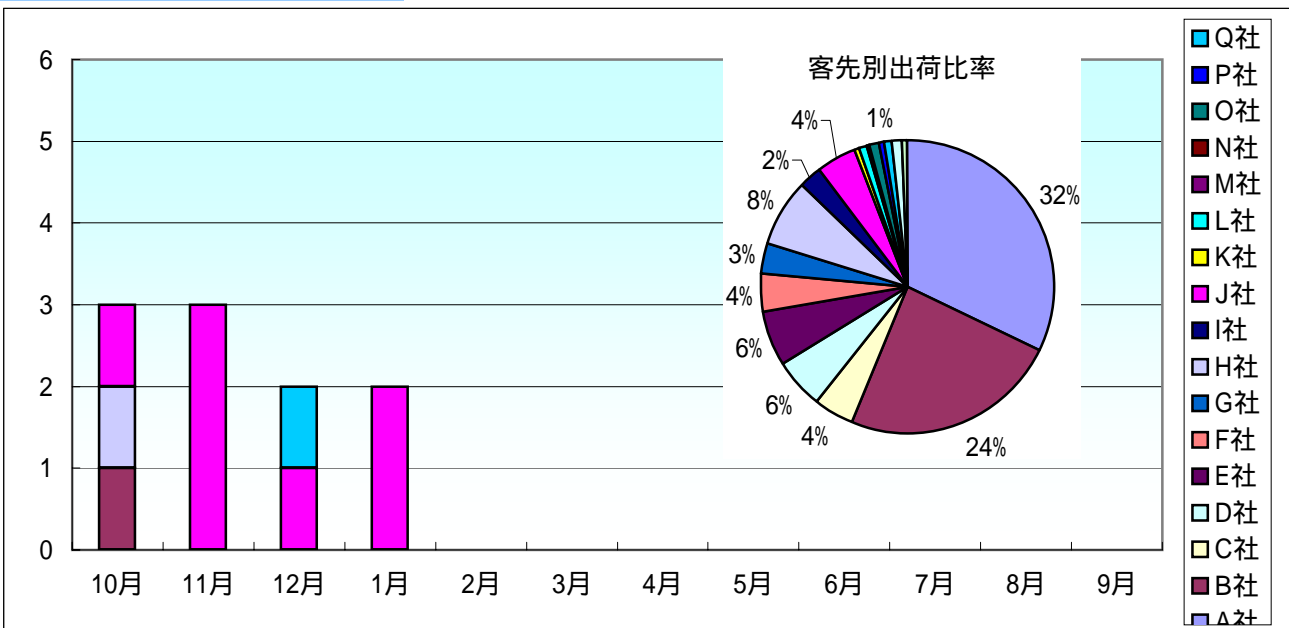
その1) 原因別、並びに工程別市場不良発生状況

工程別不具合



1月発生不良は2件です。
 12月に発生した不良とまったく同じものが、さらに2件発生。
 明確な原因が判明しておらず、再発が懸念されます。(流出対策のみ実施)

客先別不具合



客先別累計不良発生率
 J社 7件/2000台 (1750ppm)
 Q社 1件/700台 (1429ppm)
 H社 1件/3927台 (147ppm)

J社のみ1月も不良発生しております。

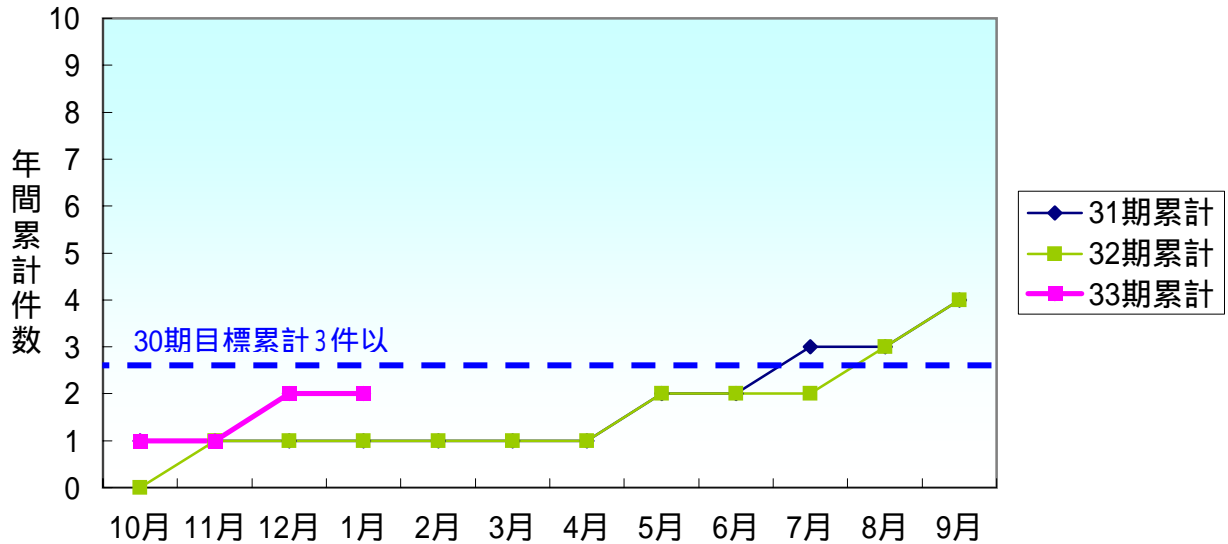
品質状況詳細

その1) クレーム発生推移状況

クレーム発生推移

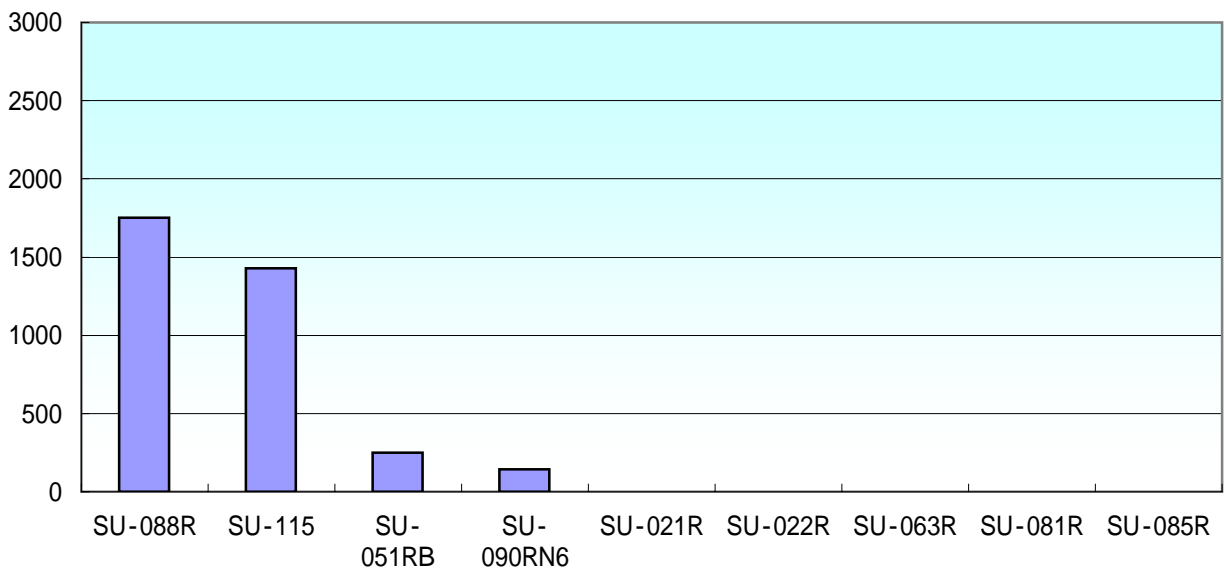
「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に
当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合

対前年度クレーム件数推移 (33期)



1月のクレーム不良は発生しませんでした。
しかし、それ以降で重大不良が連続しており、今後の累計数は大きく増えることが予想されます。

機種別累計不良率



1月にも不良発生した SU-088Rがどうしても目立ちます。
根本的な解決が必要な機種と思われます。
設計変更を実施するような動きをかけていきます。